

被害者体験原稿

職業=看護助手 性別=女性 年齢=56歳 氏名=N・F 居住地=京都

被害が増加し、支払いが不能となった経緯をお話します。

昭和40年高校卒業と同時に長崎から京都に出てきて、レストランに勤めました。昭和42年結婚。しかし夫は勤務先が倒産したり、また縮小などもあり、転職を繰り返しました。

私も4年半ほどは共働きしていましたが、妊娠・出産のため退職。続けて息子3人を出産。子育てに追われ、外で働くということができませんでした。そのため生活は親子5人ぎりぎりという生活でした。

昭和54年夫はラーメン屋に就職。昭和56年には私も焼肉レストランにパートの仕事に就くことができました。

その後正社員となりましたが、平成3年3月三男が私立高校に入学、100万円の入学費用が必要となり、30万円をプロミスから借入れをしました。

同年9月実母が塵肺で入院、医師からあまり長くは生きられないだろうといわれました。せめて母が生きているうちにできるだけ親の恩に報いたいと思い、毎月2回夜行バスを利用して長崎の母のもとに通いました。経済的には負担になりましたが、母を思うと胸が熱くなり、決して惜しいとは思いませんでした。母は平成5年7月死亡。その葬式代を負担したためプロミスには利息を払うのが精一杯でした。

平成6年10月返済がやっと順調に行き始めた頃、1年ほど前から患っていた子宮筋腫が悪化。子宮を全摘出したため余儀なく2ヶ月の休暇を取りました。

職場復帰してもなくの平成7年1月、今度は夫が過労で倒れ、1ヶ月間入院しましたが、医者より職場復帰は無理といわれ18年間勤めたラーメン屋を退職しました。退職金はありませんでした。当時の夫の勤務時間は1日平均13時間。休みは月3回で、給料は23万円というひどいものでした。そのときわかった病名だけでも、肝臓疾患、心不全、十二指腸潰瘍、など七つの病名が付いていました。

約半年、自宅静養をしましたが、知人のすすめで喫茶店を始めました。3年間続けましたが、結果300万円の赤字を残し閉店しました。

その後、平成8年に右肩鍵盤断裂で手術。平成9年8月糖尿病悪化と過労で入院。12月急性膵炎で入院いたしました。

これらのことがあり、平成10年9月当時、すでに私の負債額は200万円近くになっていましたが、息子たちの協力もあり何とか返済することができました。

平成11年1月、実家の父が末期の肺がんで入院、同年7月死亡。これにかかわる看病、葬儀、四十九日、100ヶ日の法要およびこれらの交通費などに要した費用は120万円にもなってしまいました。そのため、また新たにサラ金業者数社から借入れを起こしました。

父の一周忌、新盆などで長崎まで行きましたが、そのためさらに借金を増やしてしまいました。

平成12年2月この借金を一本化するため三男を連帯保証人として商工ローンより300万円を借りましたが、この返済は月9万円でした。

父の死により、父と弟の共有名義であった不動産が私と弟の名義になりましたが、その不動産には300万円余りのローンが残っていました。弟と半額ずつ支払う約束で相続しましたが6ヶ月のローン滞納があり、かなりの負担になりました。しかし定年後は実家の墓を守っていきたいという気持ちと、家が持てるという気持ちからローンの残額を安易に考えていました。

平成 12 年 12 月 24 日、弟が倒れ救急車で運ばれましたが、平成 14 年 3 月 14 日弟は死ぬまでほとんど仕事ができない状態で 5 回の入退院を繰り返しました。弟は独身で自営業のため収入がなくなり、病院代、生活費、家のローンが全て私の負担としてのしかかってきました。家があるということで生活保護を受けることができませんでしたが、弟に家だけでも残してやりたいという気持ちから家を手放す決心が付きませんでした。

悪いことばかり重なり、平成 13 年 10 月、23 年間勤めていた焼肉店が例の狂牛病事件で閉店しました。ここでも退職金はありませんでした。失業保険が 20 日分入ってきましたが、家賃・九州の家のローン支払いにも満たない額でした。

やむなく夫の年金を年金福祉事業団から、1 年分の年金額 77 万円を借り入れ、生活のたて直しを図りました。しかし、生活費・サラ金への支払い・弟の入院費費用などで 77 万円は焼け石に水でした。

平成 14 年 2 月、やっと仕事に就くことができましたが、1 ヶ月後に弟が死亡。弟の借金も背負ってしまいました。

弟の葬儀代・法事代などの支払いができず、途方にくれていたとき 1 本の電話がかかってきました。「初回は 1 万円しか貸せないが、1 週間後に完済したら 30 万円融資する」という内容のものでした。やさしく穏やかな声でした。天使の声と思えました。私は後先の考えもなく飛びついてしまいました。しかしそれが悪魔の声であったということに気づくにはいくらか時間もかかりませんでした。

東京のヤミ金業者です。利息の支払い前日には必ず別のヤミ金業者から電話がかかってきます。彼らは皆同じことを言います。「本日中に融資できますよ」

私は業者の脅迫的取立てが怖く、ヤミ金業者 13 社より借りまくり、返しまくりました。自転車操業です。

平成 14 年 5 月から 9 月までの 4 ヶ月間でヤミ金業者 13 社、借り入れ総額は 172 万円にもなっていました。しかしその時点で総額 250 万円返済していました。78 万もの過払いをしても完済の業者は 1 社もありませんでした。

自宅、携帯、職場にと場所を問わず、時間を問わず、サラ金業者から「金を返せ」という電話が一日中かかり続けました。

ヤミ金からの借り入れは家族には内緒でした。食事ものを通りません。1 ヶ月 9Kg も体重が減りました。

それまでの私は「頑張ったら何とかなる。夫が病気だから自分が何とかせなあかん。家族を守りたい。」という一心で、度重なる不幸を乗り越えて生き抜いてきました。しかしヤミ金業者は、そのような私の気概も気力も完全に打ち砕くほど過酷で冷酷なものでした。ひとかけらの人間味もありません。「私が死んだら保険で借金が返せる」私は死ぬことばかり考えました。

8 月末、夫にこのことを話しました。9 月半ば、義姉から電話がかかりました。「平安の会」という会があるからそこに行けというものでした。私はどうせダメだという気持ちで「平安の会」には何の期待も持たず、その日の夜。夫と一緒に「平安の会」を訪れました。

相談員の M さん、H さんが長い時間をかけて話を聞いてくれました。親身になって相談にのってくれました。ヤミ金は違法業者であり、それと対決する勇気を持つことが必要だといわれました。負けたらあかんといわれました。そこで対応の方法、これからの行動方針などたくさんの知恵を学ぶことができました。・・・・・・

KJ発想法

川喜多二郎(KJ)氏によって創案された、野外科学の中から生まれた発想法を中心にして、いくつかの隣接技術、例えば、PART等の計画技法や、ブレインストーミング等を使いこなし、問題提起から具体的な行動までの累積的技術を意味する発想法である。

異質のデータ・情報を統合することによって、新しい発想とアイデアを生む方法で、白だ黒だと決めてしまわないで、無心になって耳を傾けて語り手の心の中まで理解する。

(人間の「知」「情」「意」を駆使、360°見回す→整理→新しいアイデア)

管理社会→参画社会

KJ発想法の手順(資料)

①ブレインストーミング



※はじめに、テーマと司会者と記録者を決めておく
(雑談会) ワイワイ ガヤガヤ

②ラベルづくり(よい例・わるい例)

もとの発言内容

はかして、やる必要があるかと思うが、やらないと、嫌な気持ちももたらさないとか上役からにらまれるなどということになるので、青年は思いつくほど詳細な発言がない

よい例

青年にとり、やらなくてもよいことが多い	青年の時間的余裕について	(理由) 観念的 土の香りなし
オトナや上役に監督されているので省けない	青年は理屈を言いたがる	勝手にストーリーを拡張内容を歪曲しすぎ
青年には、男かけほど時間的余裕がない	やらなくても思っても、叱られるので忙しい	どうとでもとれて、誤解を生む。 主語が誰かも判らない
(上は3枚1組)	青年はこんなことまでやる必要はないと思っても、他人に叱られるのでやる。その結果、時間が不足する	罵詈雑言のものを1枚に盛りすぎ、その結果長くなりすぎである

資料の住所: 川喜多二郎著「続・発想法」より(中公新書)

6 ラウンド累積KJ法

R1	問題提起	「…が気にかかる」「…したい」	宗教家・芸術家のように、
R2	現状把握	「…である」「…であった」	科学者のように、
R3	本質追求	「…ではなかろうか」「…だ」	哲学者のように、
R4	構想計画	「…せよ」「…しよう」	政治家のように、
R5	具体策	ビジネスマン、実業家、発明家のように	
R6	手順化	システムエンジニアのように、	

③ラベル集め(注意点)

- 一枚一枚のラベルの「志」をよく読み取る。(個体識別)
- 情念で集める。(なんとなく、同じことを言っている。)
- 理屈で集めるな。(あだからこうなって・・・)
- 全体のラベルが言わんとしていることを感じとる。

④表礼づくり(よい例・わるい例)

よい表礼

彼女に声をかけても、色よい返事をくれなかった。

彼女を映画に誘ったが忙しいと断られた。

最近、彼女に手紙を書いても、返事が来なくなった。

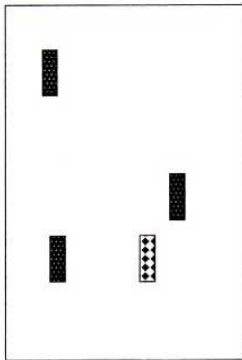
誕生日に招待したが、来てくれなかった。

わるい表礼

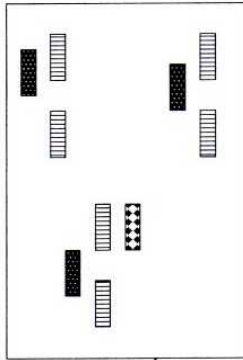
- 目的
 - ・彼女の反応について。
 - ・彼女と僕の関係。
- 寸足らず
 - ・彼女は冷たくなった。
- 足算
 - ・彼女は映画に誘っても来ないし、手紙を書いても返事がなく、誕生日に招いても来てくれなかった
- 読みすぎ
 - ・彼女は僕が嫌いになった。
 - ・彼女に男ができた。

⑤空間配置

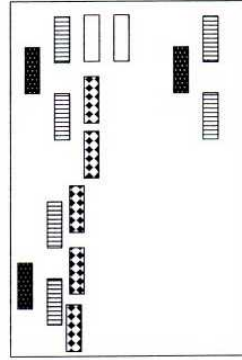
お互いの関係を
考えて、もっと
も、落ち着きの良
い配置を見つけ
る



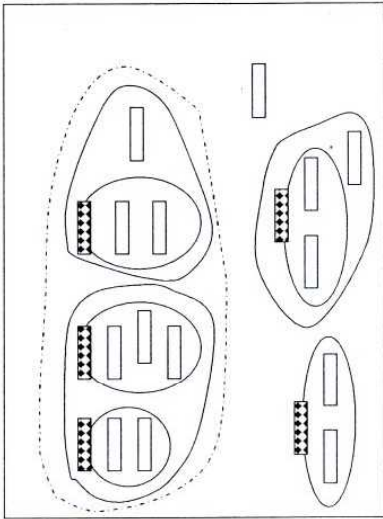
最も積み上げの
高い束を一齐に
一段だけ展開す
る。
隣の島との関係
をよく考えて、
大きい島の良い
落ち着きの良い
配置を見つめる。



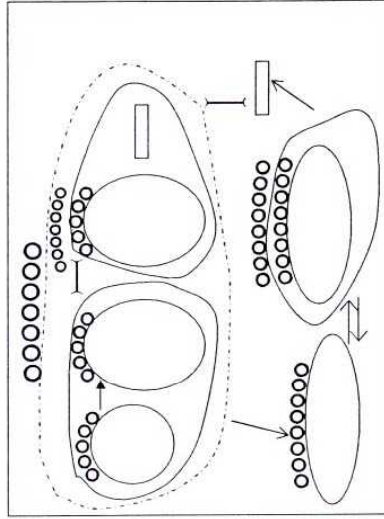
更に一段、腹ワタ
を出して、空間は
位置する。
続いて、元ラベル
まで落ち着きの良
い配置が決ま
ったら、終わり。



⑥図解づくり



元ラベルと一番下の赤表札を
張る
↓
島の大きさ、色を計算して
枠取りする



枠取りが終わったら、残してあ
った表札を枠取りの周りに書き
入れる

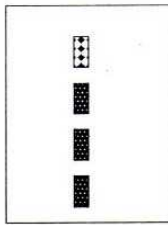
↓
テーマを書き入れ、右下に4項
目を書き入れる
(1)とき (3)データの出所
(2)ところ (4)作成者

↓
関連記号を記入する

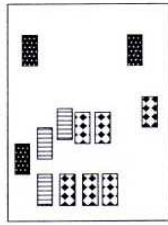
因果関係	→
相関関係	↔
反対・矛盾	↯
関係あり	↘
同じ	
同じでない	/
など

× わるい例

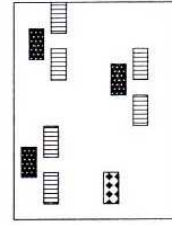
※理論的な順序時系列等で
並べない



※一つの島だけを全部展開
するのはよくない。
(中の島同士の間隔を考
慮できない)



※単に機械的に並べるのは、
芸がない。



資料 3

ラベルサンプル（多重債務）

- ① ぎりぎりの生活をしているのに三男を私立高校に入学させたからである
- ② 意志が弱く他人に相談しなかったからである。
- ③ 全部自分の力で返済しようとしたからである。
- ④ 夫の手術や入院でお金がかかってしまったからである。
- ⑤ 夫の勤務先が安定しなかったからである。
- ⑥ はじめの借金を完済することができたからである。
- ⑦ お金がないのに、お金を使いすぎたからである。
- ⑧ 倒産したにもかかわらず子どもを続けて3人も出産したからである。
- ⑨ 弟が亡くなったからである。
- ⑩ 後先考えずにヤミ金業者の電話に飛びついたからである。
- ⑪ 喫茶店で300万円の赤字を残したからである。
- ⑫ 喫茶店を始めてしまったからである。
- ⑬ 家を手放す決心がつかなかったからである。
- ⑭ 夫の退職金がなかったからである。
- ⑮ 自営業で無理なく返せる額を考えていなかったからである。
- ⑯ いっぱいお金を借りたからである。
- ⑰ ほとんど自分一人で借金を背負っていたからである。
- ⑱ 医療葬祭費がたび重なったからである。
- ⑲ お金を借りて、全部返す前にまた借りたせいである。
- ⑳ 借金を一本化したためである。

クレサラ被害者体験記より

ラベルサンプル（悪質商法）

- ① 簡単なアンケートと言われたからである。
- ② まさか契約させられるとは思わなかったからである。
- ③ 販売員の言葉を信用したからである。
- ④ 本物が送られてくると思ったからである。
- ⑤ 自分をほめられてその人がいい人そうだったからである。
- ⑥ 高校に合格してうかれていたからである
- ⑦ トップモデルも利用していると言われたからである。
- ⑧ もっと美しくなれると思ったからである。
- ⑨ このブランドが大好きだったからである。
- ⑩ 限定ものだと書いてあったからである。
- ⑪ みんなに自慢できると思ったからである。
- ⑫ 教材はいずれ必要になると思ったからである。
- ⑬ 大学受験に不安があったからである。
- ⑭ 友達も使っているからと安心したからである。
- ⑮ みんながやっているから自分もという気持ちがわいたからである。
- ⑯ 無料という言葉に惹かれたからである。
- ⑰ 通信教育の受講料を知らなかったからである。
- ⑱ 利用規約など細かいことをきちんと読まなかったからである。
- ⑲ メールアドレスをむやみに書き込んだからである。
- ⑳ 手軽に使えるものだったからである。

ひとり立ちワーク 10、11 より

資料 4

「人に迷惑をかけてはいけません」という、やさしい責任感から、一人で返済しようと頑張ったからではないだろうか

一人で返済しすぎたからではないだろうか
この人が
やさしい人だからではないだろうか。
① 悪態が弱く、他人に相談しなかったからである。
② 家も手探り決断か
つがはかたからである。
③ 母親のために尽くす気持だからである

責任感が強かったからではないだろうか。
④ 全部 自分力で返済しようとしたからである
⑤ ほとんど自分一人で借金を背負っていたからである。

理想と現実ギャップがあったからではないだろうか

現実の問題(不景気等)を考えたからではないだろうか。
喫茶店を始めるというとき、甘く考えていたからではないだろうか。
⑥ 自営業が無理なく進める額を考えていなかったからである。
⑦ 喫茶店を始めてしまったからである。

幸せな家庭を作ったからではないだろうか。
⑧ ざりざりの生活をしているのに、三男を私立高校に入学させたからである。
⑨ 夫が倒産したにもかかわらず、子供を養って3人とも出産したためである。

多重債務に陥る原因はこういうことではなからうか

不況や、度重なる不幸により、経済的・精神的に追いつめられ、返済計画についても前向きに考えられなくなっている

前向きに考えられなくなっているからではないだろうか。
不幸がつかつき、精神的につらかったからではないだろうか。
⑩ 夫の手術や入院が多く、お金がなくてしまったからである。
⑪ 弟が亡くなったからである
⑫ 区庁保健センターが重なるからである。

不況のせいではないだろうか。
⑬ 夫の勤務先が安定してはなかったからである
⑭ 夫の退職金がないからである。

「借金に関する知識が足りなかったからではないだろうか」
「借金してもすぐに返せる」と判断したからではないだろうか。
⑮ はじめの借金を返済することから
⑯ 借先考案時に、借金業者の電話に飛ぶつがたからである。

はじめの借金を返済できなかったことに安心し、軽い気持ちで借金をするようになったからではないだろうか

「借金をしている」という感覚がなかったからではないだろうか。
⑰ 一度お金を借りて全部返済前にまた借りたからである
⑱ いよいよお金を借りたからである。

3-7
時 所 一 夕
所 一 タ の 出 所
作 成 者 3 年 7 組 1 番
名 前

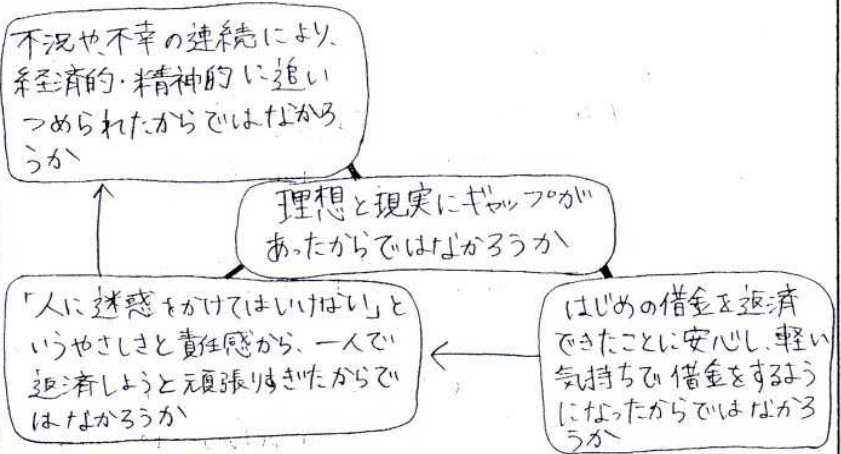
「人が多重債務に陥るのはこういうことではなかろうか」

たくさんの子供と夫にかこまれ、幸せな家庭を作りたいという理想と、喫茶店を始めてもうまくいかなかったなどの現実ギャップがあったために借金を抱え、消費者金融に関する知識がないまま借金をし、無事に返済した。このことに安心し、何か借金ができたたびに軽い気持ちで借りるようになった。返済が辛くなっても、「他人に迷惑はかけられない」というやさしさや責任感から一人で返済しようと頑張ったが、度重なる不幸や不況により、精神的・経済的に追いつめられ、返済計画についても前向きに考えられず、「とりあえず返せばいい」という思いから、自転車操業をしてしまったことが原因ではなかろうか。

<KJ法の感想>

状況を細かく分析していくことで、何か原因なのかがあかってくる勉強になった。

図解化



3年 7組 番	氏名	
---------	----	--

人が多重債務に陥るのはこういうことではなかろうか

R3
空間配置・図解化

・日時 2005.11.26

・場所 東京ビックサイト

・データの出所
小千谷高校3年7組・分科会参加者
(全国クレ・サラ・ヤミ金・高工ローン被害者
交流集会被害者体験手記)

・作成者氏名 _____